



ぼくたち、わたしたちも頑張っています(平成13年1月7日 消防出初式)

12月定例市議会の概要

12月定例市議会は12月4日から22日までの19日間にわたって「平成12年度一般会計補正予算」など18議案の審議と、9月定例会で継続審査とし、特別委員会で審議していた「平成11年度決算の認定」3議案及び「第3次総合計画基本構想の改定」についてを、いずれも原案どおり可決した。また、固定資産評価審査委員の選任、人権擁護委員の候補者の推薦について、それぞれ同意するとともに、初日に「交通死亡事故の多発を憂慮し安全に暮らせる交通社会を目指す決議」を行い、さらに、最終日に「暴走族根絶を期する決議」を行った。

◆平成12年度補正予算

一般会計で2億2,586万8千円、特別・企業会計で3億4,797万円の計5億7,383万8千円を補正し、補正後の全会計の総額を62.5億2,817万3千円とした。

今回の補正の主な内容は、一般職員の給与改定等に伴い、給料表の改定を行わず、扶養手当の一部を改定して平均0.15%を引き上げ、期末勤勉手当を0.2カ月分引き下げとする人件費と、国の経済対策に伴う公共事業の追加などによる補正である。

●特別養護老人ホーム・養護老人ホーム施設整備補助金 4,985万1千円

●家庭用電気生ごみ処理機設置事業補助金 3,000万円

●農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業 1億5,150万円

●木質資源有効利用緊急対策林業構造改善事業 2,504万8千円

など

◆工事請負契約

●厚生会館改修工事 4億7,617万5千円

●秋津が丘団地市営住宅第1期建替工事 1億8,900万円

◆条例

中央省庁等改革関係法施行法等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の新設と、福知山市一般職職員の給与に関する条例の一部改正のほか、2条例の一部改正を行った。

◆人事議案

●固定資産評価審査委員
渡邊 實氏(北小谷ヶ丘, 67歳, 再任)
大槻廣子氏(正明寺, 55歳, 新任)

●人権擁護委員
櫻本昭生氏(内記三丁目, 72歳, 再任)

●浅尾勝次氏(大呂, 61歳, 再任)

◆決議

●交通死亡事故の多発を憂慮し安全に暮らせる交通社会を目指す決議
●暴走族根絶を期する決議

(8ページに詳細を掲載)

一般質問

(12月定例会)

新政会

穂田 司正	井上 重典
森田 泰英	松本 良彦
田中 泰治	加藤 弘道
塩見 仁	田淵 弘

行財政の見通しと予算編成

問 12年度財政運営の見通しは。

答 個人市民税は厳しい情勢であるが、法人市民税は回復の兆しなど、当初予算を若干上回ることで予測される。経常収支比率は前年度の81・8%を下回り改善の方向が見込まれる。しかし公債費比率は過去の大事業の増により、前年度15・4%をやや上回る傾向が予想される。

問 行財政の現状を踏まえた13年度予算編成の方針は。

答 新世紀序章の年「ニューセンチュリー・プロログ」として位置づけ、長い目の出発の予算編成としたい。一方では、公債費比率が厳しいラインに達しているので、財源の有効利用と事業の選

択、緊急順位を見極め健全財政を踏襲していきたい。また、第3次総合計画に添って中核都市にふさわしい予算編成としたい。

市公金を郵便貯金から自動振替に

問 市公金を郵便貯金口座から自動振替にする考えは。

答 多くの市民の方から要望があり、いろいろ検討した結果、平成13年4月から実施させていたくよう事務を進めている。

由良川改修と内水処理について

問 由良川改修補正予算の内容は。

答 補正予算は建設省の配慮により、弘法川のポンプ設備を始めたとして、由良川河川情報のI T関連、監視カメラ、遠隔操作などがある。運がよかったし、時期もよかった。

問 市街地内水処理に対応したポンプ設備計画の概要は。

答 移動可能な簡易ポンプ(排水能力毎秒1・5トン)を4台配置し、ポンプの受台を弘法川樋門に4基、荒河樋門に2基、法川樋門に2基と計8基を設置すると聞いている。市にとっては大変ありがたい。



建設省により移動式ポンプの設置が計画される弘法川樋門

行政改革について

問 第3次行政改革基本方針案の意図するところは。

答 行財政運営の簡素化を進め、方針の目標を明確にして市民にも理解してもらうことが大切。

ごみ焼却施設について

問 事故発生時の緊急連絡体制は。

答 連絡マニュアルはあるが、有効に作用していなかったと反

省している。今後は厳正に対応していく。

問 公害防止協定に基づく連絡は。

答 周辺14自治会と協定があるが今回通報を怠った。今後は協定に基づき連絡を密にして信頼を回復したい。

市民病院全面改築について

問 全面改築にむけた基本調査業務の業者選定及び調査内容と今後のスケジュールは。

答 指名競争入札を行ったが、時期・内容を含め基本的な計画を作成するもので、スケジュールは現時点では言えない。

幼稚園と小学校をめぐる状況

問 幼稚園のあり方と今後の見通しは。

答 来年度の入園希望者は11月30日現在211人で、平成8年の339人と比べると大幅に落ち込んでいる。これは少子化の進行と保護者のニーズの多様化によるものと考えられ、今後の幼稚園のあり方を抜本的に見直す時期がきた。教育関係者や有識者の意見を十分聞きながら検討したい。

問 複式学級と通学区域の再編成の見通しは。

答 複式学級は平成15年以降に1〜2校増える。通学区域の再編成については、地域要望を踏まえて検討していきたい。

佐賀地区に医療施設を

問 佐賀地区に週2〜3回程度の健康相談的な施設の考えは。

答 市民病院からの医師の派遣はむずかしい。

自民クラブ

立道 正規 有 幸男
永田 時夫 和田 久

財政の健全化に向けた取り組みは

問 財政状況はこれまでから厳しいが、21世紀の行財政運営と健全化に向けた総合的な考えは。

答 経常収支比率、公債比率などの財政指標が厳しい状況のため、最小の経費で最大の効果を上げる運営の基本をたて、やっていきたい。財政的には苦しいが、経常経費の5%削減を指示したところだ。

21世紀に対応した職員の育成は

問 基本であるあいさつができない職員が多い。人間関係の希薄さから、自己中心的になり、保身、出世欲と生き残り意識ですさんでしまい、不適切な対応などにより、職員に対する厳しい評価の声が多いが。

答 充分注意しなければならぬ。まず、市民のために働かせてもらっている事を自覚し、忘れないように職員研修で言い聞かせたい。

問 あいさつについて一番の課題は教育委員会。市庁舎6階から1階まで、指導体制を徹底し実施すればと思うが。

答 あいさつ運動を地域、家庭、学校に協力を求めるだけでなく教育委員会事務局の職員が見本となるよう具体的な行動を実行するので期待して見ていただきたい。

交通死亡事故多発の非常事態宣言

問 福知山署管内では、交通事故死亡者が昨年より6人増の15人に達し、署内に交通死亡事故抑止対策推進室を設置し、緊急特別対策が展開されているが、本市の対応策は。

答 「広報ふくちやま」で死亡事故警報発令を全戸配布し、市民の理解と協力を求めている。暴走族対策については全国的に社会問題化しており、市民の平穏な暮らしを守るために、本市の取り組みの強化を求める声が多いが考えは。

日本共産市会議員団

仲林 清貴
藤井 節子
足立 進

市会議員団の予算要求に対して

問 今年も、166項目の予算要求を市長に提出した。具体的な予算編成はこれからだが、どれも市民の切実な願いであり、市長の見解は。また、国の悪政から市民の暮らしを守る予算編成を求めているが、基本的な考えは。

答 要求書は各課に配布し検討してもらっている。国の省庁が再編されるがまだみてこない。常に思っていることは、市民の立場に立つこと。1枚の通達で自治体の業務がやれるとは思っていない。私の判断で、進言することは強くいう。

市内内水対策のために弘法川のポンプ場設置は

問 市会議員団として、昨年9

答 地域ぐるみで暴走行為の根絶に向けて取り組んでいきたい。また、住民側も暴走行為をおおつたり、見物するようなことのないよう協力していただき警察と連携して根絶に向けて取り組みたい。

新焼却炉の管理問題について

問 新しい焼却炉でトラブルが発生したとの報道があったが、このトラブルの経過、その後の措置についてはどうなっていたのか。また、この報道は、市が公表したのではなく、そこで働く労働者が

答 現在、荒河排水機場のポンプは、毎秒10トンの能力がある。新たに弘法川流域で1・5トンの移動式ポンプが4基稼働すると、合計16トンの能力になる。稼働時期は、来年秋以降になる。

連絡されたようだが、なぜ市は自ら公表しなかったのか。さらに、新焼却炉の維持について、運転管理は4人体制で3交替であたられれているが、この体制は実際確保されていたのかどうか、問題はなかったのかどうか。

答 4月11日、午後9時15分頃、飛灰を圧送するパイプに、摩擦により2から3ミリ穴があき、18リットルほどの飛灰がでた。当直職員に加え、緊急に他の職員も対応、午前0時30分に直った。メーカートの責任であり、配管を取り替えた。その後の改善をメーカート側と協議。このトラブルは、部品のトラブルと判断し、公表しなかったが、反省している。職員体制は4人が原則だが、多いときには3人の休みがあり、少なくとも3人の体制はいるので、勤務状況を事前に把握するようにしたい。

KTRかしの木台駅周辺整備を
問 KTRかしの木台駅周辺の道路は暗い。また、トイレも設置されておらず、改善の要望がでているが。

答 照明については検討したい。トイレはKTRに要望があることを伝える。



改善の要望がでているKTRかしの木台駅周辺

30人学級・乳幼児医療・放課後対策など子育て支援を

問 学校をめぐる様々な問題が起きてきているが、30人学級は保護者の強い願いとなっている。本市での実施の考えは。また、乳幼児医療費助成を修学前までに引き上げる考えは。さらに、小学生低学年の放課後対策として、学童保育を視野に入れるべきだが、検討されているか。

答 30人学級は、財政的になかなかかむずかしい。乳幼児医療費の助成は、府の2分の1の助成を受けて実施しているが、市単独での拡充はできない。校庭開放事業は、学童保育的なものを加味しながら、保護者の願いに応えていきたい。

減反おしつけやめよと国に意見を

問 来年のコメの転作面積は、今年よりもさらに拡大される。市町村合併と同様、国に対してはつきりとおしつけをやめるように言うべきだが。

答 合併問題とは同じようにはならない。

市職員の同和研修のあり方

問 市役所内の同和研修で、特定の職員の発言をとりあげてい

るが、特定された職員の人権にかかわる問題はないのか。

答 個人の人権はしっかり守らなければならない。

上篠尾二区内交差点の安全対策は

問 上篠尾二区内の交差点は、交通量が増加し、急勾配の上り坂になっており事故が絶えない。早急な安全対策を。

答 府の公安委員会に再度上申する。

公明党議員団

小野 喜年
今次 淳一

旧炉解体工事について

問 旧炉の解体工事は新炉建設工事の発注と同時期に契約して、新炉の稼働確認のうえ直ちに解体したいとの意向もあったと聞くが、契約されなかった理由は。

答 新炉の完成は平成12年3月の完成であり、平成12年度内の解体は契約上困難であった。

高齢者・身体障害者福祉施設について

問 現在の温水プールでは利用者

が多く高齢者や身体障害者の方たちが安心して利用できない。別の施設で福祉専用の温水プールとリハビリ治療ができる建物を計画実現できないか。

答 財源的な余裕がないので今のまま辛抱をして欲しい。

問 温水プールに身体障害者専用の駐車場スペースが欲しい。また毎日の利用者もあるが、大人の入場料が高すぎるのではないか。

答 関係者の意見を聞いてできるだけ検討していく。

改築予定の市民病院に免震工法を

問 阪神淡路大震災では病院機能が壊滅的な損害を受けたが、中核都市としての機能を果たすため、改築予定の市民病院で免震工法を採用する意思はないか。

答 市民病院は完全なものでなければいけない。今後充分検討を加えなければならない。

災害予測図の作成について

問 災害予測図（ハザードマップ）は現状に合致したものを作成して、市民の緊急避難の時の資料にするべきだ。

答 防災マップを作成したが、建設省の図を元にして判定予測による色分け表示をし利用している。

広小路通りの車線表示について

問 広小路通りには2カ所の信号があるが、直進・左折・右折をスムーズにするためのレーンペイントがない。また、片側の幅が約5・8メートルあるので、一車線にして外側線を設けて停車できる場所を確保することが事故防止に必要。

答 道路標示については必要と認識しているので、商店街・公安委員会と協議していきたい。

福政会

- 片山 照雄
- 荒木 治清
- 武田 光正
- 大西 肇
- 和泉すゑ子
- 芦田 弘夫
- 野田 勝康

行政改革について

問 第2次行政改革の重点6項目の成果と課題は。

答 事務事業の見直しでは、自主財源の確保や経費の節減に努めた。組織・機構では、平成9年に機構改革の実施と専門職の配置を行った。定員管理では、自治省の定員モデルに添った適正化を進

めた。職員的能力開発では、研修担当専門職を配置して積極的に取り組み、一定の効果を上げた。行政サービスの向上では、自動交付機の設置とシステム開発で経費の節減とサービスの向上が図れた。公共施設の管理運営では、機械警備の導入や管理委託で経費の節減ができた。

問 第3次行政改革作成にあたっての基本姿勢は。

答 後期5年間の第3次総合計画を具体化するためには、財源の厳しい中で相当の努力が必要である。多くの方の意見を聞きながら英知を結集して取り組んでいく。

有害鳥獣対策を

問 駆除隊出勤報償費とイノシシの捕獲奨励金の増額が図れないか。

答 奨励金については予算編成のときに担当課と協議したい。

問 狩猟免許取得に助成できないか。

答 狩猟免許者と駆除者の間に差があり、一律助成していく訳にはいかない。駆除隊を編成していく中で、今後の課題として考えていく。

介護保険料の減額

問 10月から介護保険料の徴収が始まったが納付状況は。

答 普通徴収一期分の収納状況は、件数で83・5%、金額で83・6%となっている。

問 地方自治体によっては、保険料を減免するところが出てきているが、市長の考え方は。

答 国の統一した制度でやるべきであり不公平になる。全国統一した取り組みを望んでいるので、機会を見つけて国に言っていきたい。

府道談夜久野線ゆずりトンネル貫通後の展望と課題

問 トンネル貫通後は、夜久野と最短距離で結ばれ沿線地域の活性化・交流を促進することになる反面、国道429号の交通量の増大で、アクセスとしての市道福知山停車場奥榎原線・和久市新庄線の整備が必要となるが。

答 停車場奥榎原線正明寺付近は、箇所整備をしている。和久市新庄線は国道9号の関係で難しい。



順調に工事が進むゆずりトンネル

今後の行政職員の退職者予測と財源措置

問 退職者のピークは何年頃か。

答 平成20年頃と予測する。

問 今後退職者が増加していくと思うが、その財源はどのような措置していくのか。

答 各年度の予算で対応していきたいが、それでも不足が生じるような場合は、財政調整基金からの繰り入れを考えている。

行政用語について

問 決算資料や総合計画等で、カタカナ文字や特殊な行政用語が使われている。注釈等の必要性はないのか。

答 できるだけ分かりやすい表現にしていきたい。

和久川改修について

問 地域要望の強い上豊富地域の和久川改修はどうなっているのか。

答 昭和60年に府が国の補助採択を受けて、新庄橋から額塚までの間4・1キロメートルの整備を進めている。続いて上豊富地域

への改修は財政難の時、すぐには難しい状況だ。

シルバー人材センターについて

問 高齢者雇用安定法が改正されたが、雇用拡大につながるのか。

答 法改正で業務の範囲が拡がり高齢者の就業機会が増大するものと思われる。

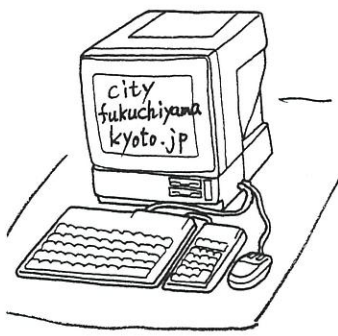
ホームページの開設について

問 ホームページの開設時期はいつ頃を予定しているか。

答 1月中に開設したい。

問 開設されると、Eメール等の情報が一気にまた多量に入ってくるが、その対応は。

答 企画部秘書広報係で対応していきたい。



無会派

荒川 浩司
芦田 廣

京都創成大学について

問 北近畿で初の四年制大学の開学に市民すべてが大きな期待を寄せ、その成功を願っているが、平成13年度からの入試制度の内容と志願者数及び展望は。また、寮の現状と地域住民との状況、アルバイト件数の状況は。

答 新しい入試制度は、講義理解力入試・メール入試・起業家宣言入試・後継者宣言入試で、人間性を重視し、明確な目標とやる気をもった学生を集めたいという考え方である。現在の志願者数は約100人で、今後留学生の志願増とあわせ、新入試制度の問合せもあるのが期待している。寮の確保は、地域との話し合いをされるなかで、JR宿舍の借り上げや新学生寮の建築など検討をされているようだ。アルバイトは136件の求人があり、学生が個人的に探してくるケースも多いと聞いている。

国道429号の安全対策は

問 改修整備状況と今安・拝師・額塚・正明寺・新庄各地域の安全対策は。

答 各地域の工事金額は拝師・新庄間1億3千万円、畑中安全対策2億7千万円、法用地域4億8千万円の工事を実施。国道429号は国道426号と同様の価値で府の財政は厳しいがお願いをする。各地域の信号灯設置要望箇所は交通安全対策協議会で協議し、府公安委員会に要望をしているが設置に至っていない。額塚地域の仮歩道設置は道路管理者の法的位置付けが難しく、抜本的解決にはならない。和久市新庄線の拡幅は国道9号の改修時に検討する。



改修要望箇所を視察する429号改修促進委員会(額塚地内)

総務委員会

議第29号一般会計補正予算(第3号)の主なものとしては、一般職員等の給与改定であり、給与改定としては、今回は給料表の改定は行わず、扶養手当の0・12%増額改定と期末手当0・15、勤勉手当0・05、合わせて0・2カ月分の引き下げを行うものである。

議第39号は、国の省庁再編に伴う関係条例の整理に関する条例の制定である。

議第43号は、工事請負契約の締結に関するもので、厚生会館を4億7、617万5千円かけて大改修す

市民厚生委員会

本定例会で市民厚生委員会に付託された諸議案について12月15日に開催の委員会において慎重に審査した。

平成12年度一般会計補正予算(第3号)に関わって、給与改定による補正の他、福祉関係ならびに清掃総務費などを中心に審議するとともに、平成12年度福知山市病院事業会計補正予算(第1号)や介護保険条例の一部改正などについても審議した。

福祉関係の補正は、三愛荘の老朽化に伴う改修ならびに特養新設に対する補助金の助成、受給者の増加に伴う生活保護費の増額などであり、

るもので、建物の耐震補強を行うとともに、空調、音響、照明、客席等々の改修と女性用トイレの増設、エレベーターの設置や身障者用トイレの設置等を行い、高齢者や身障者にも配慮した施設とするものである。

議第45号は訴えの提起(裁判上の和解も含む)であり、市営住宅入居者で、長期滞納者1件に対し、家賃支払いの請求訴訟を提起するものである。

その他条例改正を含め7議案を審査した結果、全員賛成で原案どおり可決した。

常任委員会の審査報告

清掃総務費については、電気生ゴミ処理機の設置数が大幅に増加する見込みとなったことによるもので、新たに千基分を補正するものである。

病院事業会計の補正予算については、人件費や薬品・診療材料経費に関わる補正であるが、委員より、看護婦の処遇の問題や外来患者の増加の要因さらには薬価差などについて質疑が行われた。

審査を終えて、採決の結果、当委員会に付託されたすべての議案は全員賛成で原案可決された。

経済委員会

議第29号一般会計補正予算は経済部各課の人件費減額補正と、農免道路整備に係る森垣の工事で橋脚と桁製作工事並びに用地買収の経費の補正である。さらに、森林組合の間伐材等の二次加工施設、機械類整備に要する補正である。議第34号は、農集排特別会計の人件費関連減額補正との説明があった。委員から農免道路工事について、日照問題、安全対策、防音壁、移転補償などが、森林組合施設に関しては、間伐材利用の製品販

売促進の方策についての質疑があり、理事者側から詳細の説明を受けた。公営企業関係の議第31号、36号、37号については、人事異動と人事院勧告に基づく人件費に関する減額補正であること。議第39号は、省庁改編に伴う文言の整理であることが説明された。下水道部の議第32号は、萩原・土・勅使地区の管路敷設工事費及び調査設計委託費の歳入歳出補正と人件費の減額補正であるとの説明があった。ガス・水道は共に住民生活と密接な関係にあるので、安全対策について、下水道も一層の整備に努力してもらいたいとの意見が委員から出されていた。以上で審査を終え、採決の結果、全議案全員賛成で原案どおり可決された。

見が出されていた。

次に議第44号の工事請負契約の締結では秋津が丘団地市営住宅第1期建替工事について団地の現況と全体計画及び今回提案の請負契約に係る工事内容並びに構造について詳細に説明を受けた。特に市営住宅ではじめてパリアフリー対応の住宅で、段差をなくした構造となっている点を強調された。委員からは工事中の安全対策、ライフラインの整備時期、エレベーターの設置について質疑がされ、それぞれに答弁がなされたが、特に現在の入居者や周辺住民の方々に支障のない工事を要望した。以上で審査を終了し採決の結果、全議案全員賛成で可決した。

文教建設委員会

当委員会に付託された議第29号平成12年度一般会計補正予算第3号及び議第44号工事請負契約の締結について12月15日委員会を開催し慎重に審査した。一般会計補正予算では私立幼稚園就園奨励費交付に係る補助で、当初見込みの対象人員が185人から203人に増加したことに伴うものであるとの説明を受け、委員から就学前の子育てのあり方について検討する時期に来ているという意

請願(12月定例会(上程分))の審査結果

◆不採択となったもの

- 育児・介護休業法の抜本改正と保育施策の拡充を求める請願

◆継続審査となったもの

- 高齢年金についての意見書採択に関する請願
- ペットボトル・トレーの回収を求める請願
- 福知山市立小・中学校の30人学級実現を求める意見書採択に関する請願
- 教育予算の増額および教育条件の整備充実に
関する請願
- 安全でおいしい給食実現のために学校給食の
施設・設備・制度の改善・充実に求める請願
- 動物園・科学館など市施設の義務教育児童・
生徒の入場無料化を求める請願
- 子育てをサポートするために学童保育制度・
校庭開放制度の拡大・充実に求める請願
- 学校の図書館教育の制度を充実させ各学校へ
の図書館司書配置を求める請願
- 障害児学級の増設と適正配置を求める請願

決 議

◆交通死亡事故の多発を憂慮し安全に暮らせる交通社会を目指す決議

本年、府内の交通事故による犠牲者は大幅な増加の一途で、11月27日、京都府知事は「交通事故多発・非常事態」を宣言された。翻って本市においても、最近3件の死亡事故が連続するなど事態は憂慮すべき状況にある。本市は昭和37年2月22日に「交通安全都市宣言」を行い、交通事故防止に努力してきたが、この際思いを新たにして、市民あげて交通事故をなくし、安全に暮らせる交通社会を目指すことを、ここにあらためて決議する。

平成12年12月4日

福知山市議会議長

◆「暴走族」根絶を期する決議

最近、人が寝静まる深夜に、爆音を轟かせて暴走行為を繰り返す「暴走族」の横行は目に余るものがあり、平穏な市民生活が著しく阻害されている。この暴走行為を煽るが如き「期待族」とともに、彼らの所業は安定した社会秩序への重大な挑戦であり、断じて許すことはできない。

福知山市議会は、市民が安心して暮らせる環境を取り戻すために、関係機関との連携を密にして、この「暴走族」を根絶し、もって社会秩序の安定を期することをここに宣言する。以上、決議する。

平成12年12月22日

福知山市議会議長

議会日誌

〔11月5日〕

《11月》

- 21日 各派幹事会
- 15日 全国市議会議長会評議員会
- 10日 各派幹事会
- 9日 決算審査特別委員会
- 7日 決算審査特別委員会
- 6日 議会議事運営委員会
- 2日 国分市議会行政視察来市
- 28日 福天加佐議会有害鳥獣対策協議会京都府要望
- 27日 福天加佐議会有害鳥獣対策協議会京都府要望
- 21日 三條市議会行政視察来市
- 20日 三條市議会行政視察来市
- 15日 犬山市議会行政視察来市
- 10日 犬山市議会行政視察来市
- 9日 三條市議会行政視察来市
- 7日 三條市議会行政視察来市
- 6日 三條市議会行政視察来市
- 2日 三條市議会行政視察来市

《12月》

- 21日 各派幹事会
- 15日 各派幹事会
- 14日 各派幹事会
- 13日 各派幹事会
- 12日 各派幹事会
- 4日 各派幹事会
- 1日 各派幹事会
- 21日 各派幹事会
- 15日 各派幹事会
- 14日 各派幹事会
- 13日 各派幹事会
- 12日 各派幹事会
- 4日 各派幹事会
- 1日 各派幹事会

- 22日 定例会本会議(委員長報告、採決)、議会議事運営委員会、総務委員協議会、全議員協議会、議会だより編集委員会
- 25日 会期

《1月》

- 10日 議会だより編集委員会
- 17日 議会だより編集委員会
- 23日 福天加佐議会有害鳥獣対策協議会 (福知山市)
- 24日 京都府市議会議長会局長会
- 25日 京都府市議会議長会局長会
- 30日 近畿市議会議長会理事會 (橿原市)

編集後記

昨年は、京都創世大学の開学やごみ焼却炉の完成、中心市街地活性化計画の策定など、生涯学習や市民生活の向上、地域活性化につながる、21世紀に期待ができる施設整備や施策が展開されました。

議会といたしましても、新世紀が市民の皆様にも希望がもてる時代となるよう、さらなる市民福祉や生活環境の整備に努め、幸せが実感できるまちづくりを目指してまいります。

議会だよりも編集委員一同、力を合わせ、さらにわかりやすく充実したものとするため努力してまいりますので、ご意見、ご要望をお寄せください。